



社会福祉法人雲柱社  
光の園保育学校  
2024 年度 7 月号

## あたたかい記憶

ある土曜の午後、玄関先でご高齢の夫婦と息子さんらしき男性が外の看板を眺めていたので声をかけさせていただくと、なんとそのご高齢の男性（87歳）は光の園の元在園児でした。「是非とも園庭だけでも」と中へ案内をして当時の話を少しお聞きしました。

その方は引っ越しした後も光の園での思い出が忘れられず、もう一度訪れたいという思いをずっと持ち続け今回やっと来園することができとても喜んでいました。光の園を卒園する前に戦争で父親を亡くされ仕方なく母方の実家である文京区の方へ引っ越ししたとの事でした。横川公園で父親に肩車をしてもらったこと、お庭で楽しく遊んだことなど、色々な光景を思い出され涙ぐまれていました。また、5月には「庭の桜の木がみたい」と、もうお一人、ご高齢の男性が来園されました。後日いただいたお礼の手紙には『70年ほどの時を経て、よく遊んだ園庭をながめて感慨一入でした。当時の桜の木樹が健在のようで嬉しかったです』と記されていました。どちらの方も小さいころ遊んだ光の園での思い出を大切に持ち続けておられ、二人の方からは帰られる際に感謝の言葉と光の園の働きがこれからも続くよう励ましの言葉をいただきました。

光の園保育学校は今年の9月で96年を迎えます。光の園には元卒園生・在園児だったと来園される方がたくさんおられます。その度に、この光の園保育学校の長い歴史を感じています。今の子どもたちにとっても、この光の園での日々が温かい記憶として残り続けるよう改めて日々の保育を大切にしたいと思います。

主任 大山さやか

わたしたちは、あなたがたおののが最後まで希望を持ち続けるために、同じ熱心さを示してもらいたいと思います。

～ヘブライ人への手紙 6章11節～

## ＜7月の予定＞

- 3日(水) 避難訓練  
4日(木) 誕生会  
11日(木)～12日(金)  
ゆり組お泊り

## 【お願い】

## ＜2階テラスの柵について＞

柵をまたぐと転倒したり、子どもがまねしたりと危ないですので、手で開閉して下さるようお願いします。

### ＜裸足での入室について＞

分園（0歳児クラス）と本園2階は素足での入室をご遠慮いただいております。

大人の方は靴下の着用をお願いします。子どもたちが寝ころび、床の上で様々なあそびを行うため、衛生上

の観点からご協力いただけます。



つぼみ組  
(0歳児)

「チャレンジャーズ」  
でこぼこステップや坂、すべり台を組み合わせたハイハイランドであそぶ子どもたち。すべり台を滑ろうと台にお腹を“よっこいしょ！”と乗せ、登ろうと必死に足をジタバタとする姿はなんとかわいいのでしょうか…！ずっと見ていられます。滑り終えた子どもの顔には、台を登れた達成感が溢れており、“みてた？すごかったでしょ？”と言っているようです。

また、歩くのも少しづつ上手になってきた子どもたちは、バランスを取りながら凸凹の感触を足の裏でしつかりと踏みしめ楽しんでいます。



ももくみ 1歳児

### “野菜、食べよ”

『大きなかぶ』は、子どもたちから「よんご」とリクエストの多い絵本です。  
かぶを抜く場面では、「うんとうしょ！どっしゃり！」と一緒に気合い(?)を込めて大きな声で応援します。かぶが抜けると皆で大喜びでからかうかぶを食べる真似をしますが、野菜があまり好きではないAさんは最初、「Aちゃん、やきいきべない！」などと話していました。  
…ですが、何回か読む内に「は、はだけたべようかな」と、かぶの葉っぽい食べる真似をするようになり、お食事の時には、かぶと似ている大根を指差して、「これ、かぶ？」と話しながらなんと1口食べていました！絵本の効果ってすごいですね。

### 1歳児クラス さくら組 水遊び

タライに水を溜めて、水遊びをしているさくら組。溜めたお水を容器でくったり、ジャバーッと流したり♪タライにたっぷりと水を溜めてもすぐにはなくなってしまう程です。そこで保育者がホースから水を出してタライに再び水を溜めていると、子どもたちが集まってきた！持っている容器を差し出して、ホースから出る水を直接容器に入れようとしている様です。タライの水をくうよりも、素早く楽に水を容器に入れる方法を知っている子どもたち。特に教えた訳でもないのに、みんなよく知っているなあ…と感心と驚きを感じた一コマでした。

すみれ組  
(2歳児)



### 「イマジネーション」

最近、子どもたちの想像力が膨れ上がっています！お絵描きやブロック等で描いた(つくった)ものを見せながら「○○描いたよ」と何をイメージしたかを教えてくれます。言葉にしなくても、ブロックでトンネルを作つて車を通したり、マイクのように口に近づけて熱唱したり、イメージが伝わってくるのです。時に「クレーンが動くクレーン車作つて」などと無茶ぶりをされることもありますが、あそびが変化していく様子を見るだけでワクワクしています。

たんぽぽ組  
(2歳児)

ある日AさんとBさんで一緒におでかけ?のようなままごとをしていました。



あそんでいるうちに「Aがいっぱいもってきたのに~」「Bも使ってた」とケンカに…。保育者は、自分で持ってきたから全部使いたいAさんと一緒にあそんでいるから一緒に使うと思っていたBさんの気持ちの仲介をしていました。なかなか納得とはならず…しばらく平行線。するとA「使いたいの?」B「うん」A「かーしーてーっていったらいいんじゃない?」B「かーしーてー」A「今使ってるよ~」と…!(笑){大人の視点から見るとそこは貸してくれる流れなのではないか? !と思いつつ、ぐっとこらえて見ていました。}Bさんはそのまま受け止め、傍で待つことに。すると、またしばらくして「てつだってもいいよ~」とAさん。ようやくBさんも触ることはできたものの、なんだか最初のあそびとは気持ちも変わってきたので、そのあそびは自然と違う遊びに変わっていました。★

Aさんの「かーしーてーっていったらいいんじゃない?」は、最大限にBさんに寄り添った言葉です。そして、自分の気持ちも譲らない。そこがなんとも2歳児らしくて、面白いです。友だちとの関わりで出てくる葛藤を大人が受け止めながら子どもたちの素直な言葉や気持ちを大切にして、友だちの気持ちや自分の気持ちを大切にできる土台ができるといいなと思っています。



おひさま文庫係より

トマトさんに魅せられて

子どもの頃に気に入っていた絵本を手に取ると、その時読んでくれた大切な人との思い出もよみがえってきますね。同じように保育士になってから出あつた絵本一冊一冊にも思い出があります。

「トマトさん」もその一冊。もう20年近く前にこの絵本を初めて手にした時は正直表紙のトマトの顔にギョッとしました。しかしその時担任をしていた、2歳クラスのおとなしくてめったに声を出して笑うことがなかったWさんが、この絵本のトマトさんが車がる場面でケタケタと大笑いしたのです。それが何とも嬉しくて、その笑顔見たさにクラスで何度も読むうちに、すっかり私もちょっぴりあまのじゃくなトマトさんのとりこになってしまいました。トマトが好きな方もちょっと苦手な方も虫好きの方にも手にしていたい一冊です。

「トマトさん」 さく 田中清代 福音館書店

おひさま文庫係 携本

ちゅうりっぷ組  
(3歳児)

ナスとピーマン

5月上旬に植えたナスとピーマン。散歩に出るタイミングで、大きくなったかな?と見に行ったり水をあげたりしてきました。小さいピーマンが実り始めると「ちっちゃ(小さい)ピーマンがある!」、ナスが実ると「おおきなナスっ!!」と育つにつれてワクワクした表情で見守っています。

みんなで育てたピーマンが入った『じゃことピーマンのソテー』、食べてみる子どもや「苦手…」と言う子どもがいる中、Aさんは「ピーマン食べたことないの…」と一言。「初めてなの!? そしたら一口だけ食べてみようよ」と一緒に小さなピーマンを食べてみました。すると次の一口は自然とAさん自ら口に運んでいました。自ら考えて今回は食べなかった子どもも、食べてみた子どもも、大きな経験・大きな一步になっていることと思います。これからもみんなで育てて実ったことを喜びながらナスとピーマン

食べていきます!

♪やおやのおみせ♪

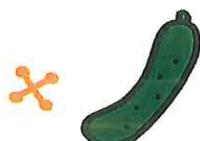
クラスで野菜を育てていることもあり、朝の集まりで『やおやのおみせ』のあそび歌を歌ってみました。子どもたちはすぐにコツをつかんでいき、保「ナス!」子「あるある!(手拍手)」保「カレー!」子「ないない~(Xマーク)」ひっかけにもひっかからず…  
ただ、保「カレー!」→保育者がわざと手拍子子「あるある!(手拍子)、あれ!?」こちらのひっかけにはひっかかり大笑い! 楽しいひと時となりました♪

ばら組  
(4歳児)

「きゅうりができた、きゅうりができた、きゅうりができた、さあ食べよ♪♪」

5月に植えた小玉スイカときゅうりの内、きゅうりが一足先に美味しそうに実ったので収穫して食べました。そのままの素材の味を感じてもらおうと何もつけずに提供しました。みんなに感想を聞くと「おいしいー!」「マヨネーズ付けるともっと美味しいかも!」「ちょっと苦手…」とそれぞれ答えてくれました。一個目に実ったものは一番の栄養を吸ってできたもので一番美味しいらしいですよ☆『ここまで軌跡』…一番はじめ、何を植えるか決める時に、とりあえず育てて食べてみたいものを挙げていこう!と子どもたちに聞きました。バナナや苺、オレンジ等甘くて美味しいフルーツばかりが子どもたちからたくさん挙がりました。(ばら組らしい…笑)更に図鑑を用いてその中から育てられそうなものは何かを、有志で子どもたちが調べてくれて最終的に決まったのが小玉スイカときゅうりです。みんなで土入れから苗植え、水撒きをしてきました。植えた次の日に「まだスイカできてなかつた…」と肩を落としては苗の様子が気になりちらちらと見に行き、成長を見守る子どもたちでした。きゅうりはすぐに実り、これから大きくなろうとしている赤ちゃんきゅうりもたくさん姿を見せています。

みんなが特に食べたい、けれどもちょっと育てるのが難しそうな小玉スイカ…上手く実ってみんなで食べられるよう子どもたちと愛情込めて育てていきたいと思います。送迎の際に是非お子さんと一緒に苗の成長を見ていって下さいね♪♪



「S・A・I・G・E・N～砂で造る！私たちだけの椅子とテーブル～」

4月下旬頃に『なぞなぞすなあそび』という絵本を手に取り読んでいた子どもたち。園庭で実際に造ってみたいと声が上がっていたのですが、再現できずにいました。もう熱が冷めてしまったのかと思いきや、園庭の日に「ね～きょうならできるかな？」とAさんが絵本を持ってきました。保育者も「今日ならできるかもね！ 造ってみようか！？」と返事をすると、数名がスコップを持ってきて一緒に砂を掘り始めました。ですが子どもたちは「でもさ～どこまでほったらしいの？」「せんぜんて一ぶるにならない・・・。」「いすは、すこっぷだとほりづらい。」などと、自分たちが思うような形にはなりませんでした。それでも、やりながらも「できたらごはんたべたい！」「おやつもいいな～」と期待に胸は膨らんでいき、そこから少しずつ気持ちも高まっていき、一気にスピードアップして仕上げまで辿りつきました。そしてようやく『砂のテーブルと椅子』が完成！ 自分たちのイメージした絵本の世界からまるで飛び出したように見事に再現することができ、子どもたちもホッと一息ついて胸を撫でおろしていました。朝から丸2時間かけて造り上げた砂のテーブルと椅子は、みんなの思い出に残るといいな～！ 幸せな時間と感動を与えてくれたゆり組は本当に最高だ～！！

『なぞなぞすなあそび』

作：きうち かつ

写真：梅田 正明

デザイン：津久井康弘宏

出版社：福音館書店



## ほけん

### 「とびひ」の「飛び火」にご注意ください

「とびひ」とは、皮膚の搔き壊した部分から細菌が入り込むことで起こる皮膚の感染症です。

虫刺されやあせもなどを搔いたことをきっかけに始まります。「とびひ」の治療は抗菌薬の

内服や外用薬になりますが、まずは患部を洗って清潔に保つことが大切です。

「とびひ」は他の部位にも「飛び火」するよう広がりますが、

同様に他の人にも広がってしまうために、プールに入る

ことができません。お子さんに虫刺され、あせも、アトピー、

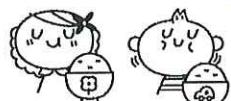
乾燥肌はありませんか。普段から肌の状態を良く保ちましょう。



## おしょくじ



### 夏がやってきた！暑さに負けない体づくりを！



7月に入り、暑い夏が本格的にやってきました。この時期は急激な暑さにより体が疲れ食欲も低下し  
体調を崩しやすいです。こまめな水分補給とバランスのよい食事を食べて暑さに負けない体作りを心掛けましょう。

### 夏野菜ってどんな野菜？



夏野菜は水分を多く含み、体温を下げる働きがあります。  
ミネラルやビタミンも豊富なので、体の調子を整えて夏バテ  
予防におすすめです。また夏野菜は彩りがよく、食卓を明るく  
華やかにしてくれます。肉や魚のたんぱく質と一緒に夏野菜  
を積極的に食べましょう！

#### ☆代表的な夏野菜☆

- トマト      ○きゅうり      ○なす      ○かぼちゃ
- ズッキーニ      ○ピーマン      ○とうもろこし      ○おくら

#### お家でやってみよう！

##### 簡単♪塩昆布きゅうり



- 材料 きゅうり 1本
- 塩昆布 5g
- ごま油 少々

きゅうりは食べやすい大きさに切り、ビニール袋に入れ塩昆布とごま油を入れてよくもみもみ♪お子さんと一緒に楽しく作ってみてください！

## お知らせ

### やまびこ

今回はありませんでした